

## 各課へのヒアリング内容（追加質問2）

該当ページ	担当課	令和2年の取組予定（目標）	ヒアリング内容	ヒアリングする理由	各課の回答
P.1	SDGs推進課	食ロス・エコクッキング・メニューコンテスト・食ロス削減協力店・アプリ紹介	第3次計画の4年目に入るので、取り組みに変化を持たせられないのか？	食ロスのリーディングPJだが、取り組み方が弱いように思える	食品ロス削減協力店舗の拡大を図るとともに、令和3年10月に設立したSDGsアクションネットワークを活用し、会員団体の連携による取組の具体化を促していく。
P.4	花のまちづくりセンター	(1-3-1④) みどりの基金を活用した緑化推進	高齢化により縮小する活動への対応は	花のまちづくりセンターのみならず高齢化は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化活動を従来の手法に加えて多様なモデルに変えていくことや、一年間を通じた緑化活動にこだわらないやり方などを考え、SNSなどを活用した手続きの簡素化などを実施し、重点的にPRする。</li> <li>・広報媒体などを活用し、助成金を活用した緑化事例を紹介することにより、「若い層」の緑化活動への参加を促す。</li> </ul>
P.5	環境保全課	(2-2-1①) 生ごみ減量化の促進	補助事業（助成事業の計画）評価はAだが、積極的な減量施策か。他の減量の実践方法は？	生ごみ減量が頭打ちか	集団資源回収補助金の実施
P.6	SDGs推進課	(2-2-4①) 廃棄物エネルギー利活用計画の推進	関係機関と調整はいつまで続けてどのように着地させるのか	関係機関と調整…というコメントが続く	生駒市内で、民間主導による木質バイオマス発電所の運用に向けた計画が推進されており、いこま市民パワーの電源として、令和6年から活用できるよう関係機関との調整を実施している。
P.12	市民活動推進課	(SDGs9) 日常のごみ出しを活用した「社会コンビニエンス」事業	高齢化が進む中、関わる人材確保は？ 地域関わる多様な団体の関わっている地域もあるが	意図することは理解するが、継続するためのエネルギー・モチベーションの維持	自治会が主体となって実施する事業であり、自治会員を中心とした地域の方々と運営していただいている。加えて、ららポートの登録団体や民間企業等との連携を推進することで、多様な主体による事業運営を支援している。
P.12	SDGs推進課	(SDGs10) セカンドキャリア人材のまちづくりへの参加	-	公共施設の貸与とセカンドキャリア人材のまちづくりへの参加が結びつかない どちらも重要なテーマではあるが…	セカンドキャリア世代で構成される市民エネルギー生駒による市民共同発電所整備への支援は、環境モデル都市アクションプラン等に位置付けられた施策であり、具体的な支援策として公共施設等の無償貸与を実施している。